



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月3日 東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,309	9.0	40	12.3	39	29.6	32	37.9
29年3月期第1四半期	1,201	△6.7	36	—	30	—	23	△72.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 43百万円(119.4%) 29年3月期第1四半期 19百万円(△73.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	2.76	—
29年3月期第1四半期	1.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,202	1,170	21.9
29年3月期	5,161	1,156	21.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,137百万円 29年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.50	2.50
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,550	3.8	60	△16.9	50	△17.1	40	△14.1	3.35
通期	5,300	3.6	145	△9.0	120	△18.3	100	△10.7	8.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	12,317,000株	29年3月期	12,317,000株
30年3月期1Q	548,953株	29年3月期	548,953株
30年3月期1Q	11,768,047株	29年3月期1Q	12,268,072株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用の改善が見られる等、穏やかな景気回復が続いています。一方、米国新政権への政策不安や英国のEU離脱問題、また中東・アジアでの地政学リスクの高まりにより、国内景気の動向は引き続き不透明な状況が続いています。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、第1四半期における新設住宅着工戸数が、249千戸(前年同期間比1.1%増)であり、利用関係区分で、マンション・一戸建て分譲住宅が堅調な伸びを示しており、釘の需要環境は概ね良好な状況で推移しました。一方、梱包業界向の需要は、依然弱含みであります。また、電気・輸送機器向事業は、弱電・OA機器向け及びゲーム機器用ネジは、中国での現地調達化が定着し、国内での需要は前年同期に比べ幾分持ち直したものの、全般的には低調であり、価格競争が激しく、事業環境は依然厳しい状況が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,309百万円と前年同四半期と比べ108百万円(9.0%増)の増収となりました。営業利益は、資材価格は値上がりしているものの、生産性の向上による製造コストの低減効果等により、40百万円(前年同四半期は36百万円)となり、経常利益は、39百万円(前年同四半期は30百万円)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税が5百万円であったため、32百万円(前年同四半期23百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する木造住宅の着工戸数は横ばいではあり、貸家・戸建て住宅の需要は概ね順調に推移し、また、資材価格等の高騰に伴い販売価格を是正したこと等もあり、前年同期に比べ売上高は増加しました。収益面では、鋼材をはじめとする資源価格や副資材価格が値上がりしましたが、生産性の向上による製造コストの低減効果等により前年同期と比べ微増益となりました。この結果、当事業の売上高は、前年同四半期比6.1%増の1,024百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ5百万円増の82百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向け及びゲーム機器用ネジは、中国での現地調達化が定着し、国内での需要は依然低調な状況にあります。また、価格競争が激しく、資材や外注加工費等の製造コストの増加分を価格に転嫁できない状況が続いております。売上高は、需要環境が最も厳しかった昨年と比べ、当第1四半期において一部の品種の販売が増えたため、大きく改善しました結果、当事業の売上高は、前年同四半期比21.0%増の284百万円となり、セグメント利益は11百万円(前年同四半期は7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,202百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比40百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ47百万円増加し、3,123百万円となりました。これは、現金及び預金が71百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が23百万円、商品及び製品が72百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ6百万円減少し、2,078百万円となりました。これは、有形・無形固定資産の設備投資8百万円に対して減価償却費が41百万円であり、ソフトウェア仮勘定23百万円の計上等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ26百万円増加し、4,032百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ108百万円増加し、2,803百万円となりました。これは、短期借入金が102百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ82百万円減少し、1,228百万円となりました。これは、長期借入金が80百万円減少したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は前年度末と比べ21百万円増加し、2,672百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前年度末に比べ14百万円増加し、1,170百万円となりました。これは、当第1四半期連結会計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円に対して、剰余金配当が29百万円あり、その他有価証券評価差額金が、株式の株価の上昇により、前年度末に比べ9百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の21.8%から21.9%となり、1株当たり純資産は95.56円から96.63円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね順調に推移しているため、平成29年5月11日に発表いたしました平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては修正していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	572,231	500,698
受取手形及び売掛金	1,387,961	1,411,741
商品及び製品	697,798	770,625
仕掛品	215,706	217,147
原材料及び貯蔵品	169,318	189,353
前払費用	11,887	12,674
繰延税金資産	21,344	21,344
その他	4,023	4,075
貸倒引当金	△3,776	△3,684
流動資産合計	3,076,496	3,123,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	488,006	479,246
機械装置及び運搬具(純額)	581,014	563,592
土地	733,542	733,542
その他(純額)	45,377	40,938
有形固定資産合計	1,847,940	1,817,319
無形固定資産		
ソフトウェア	36,650	33,776
その他	0	23,550
無形固定資産合計	36,650	57,326
投資その他の資産		
投資有価証券	111,580	112,219
長期前払費用	4,741	4,268
その他	96,011	99,241
貸倒引当金	△12,091	△12,081
投資その他の資産合計	200,242	203,648
固定資産合計	2,084,833	2,078,294
資産合計	5,161,329	5,202,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	827,848	874,341
短期借入金	1,575,017	1,677,366
未払法人税等	22,480	8,930
未払消費税等	40,620	15,839
未払費用	49,601	53,806
賞与引当金	46,795	23,952
役員賞与引当金	11,730	—
その他	120,538	149,377
流動負債合計	2,694,632	2,803,613
固定負債		
長期借入金	1,075,203	994,850
繰延税金負債	12,946	17,065
役員退職慰労引当金	35,951	27,553
退職給付に係る負債	183,087	185,578
資産除去債務	3,479	3,484
固定負債合計	1,310,668	1,228,531
負債合計	4,005,301	4,032,144
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	504,515	507,523
自己株式	△49,060	△49,060
株主資本合計	1,110,852	1,113,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,698	23,231
その他の包括利益累計額合計	13,698	23,231
非支配株主持分	31,476	33,031
純資産合計	1,156,028	1,170,123
負債純資産合計	5,161,329	5,202,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,201,441	1,309,587
売上原価	958,818	1,054,921
売上総利益	242,623	254,665
販売費及び一般管理費	206,328	213,893
営業利益	36,294	40,772
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	699	894
受取賃貸料	150	—
保険解約返戻金	—	2,661
その他	1,567	2,106
営業外収益合計	2,421	5,668
営業外費用		
支払利息	6,080	4,890
その他	1,916	1,747
営業外費用合計	7,996	6,638
経常利益	30,719	39,802
特別損失		
固定資産除却損	114	240
特別損失合計	114	240
税金等調整前四半期純利益	30,605	39,562
法人税、住民税及び事業税	6,916	5,645
法人税等調整額	△655	△65
法人税等合計	6,260	5,579
四半期純利益	24,344	33,982
非支配株主に帰属する四半期純利益	828	1,554
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,516	32,427

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	24,344	33,982
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,513	9,532
その他の包括利益合計	△4,513	9,532
四半期包括利益	19,831	43,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,003	41,960
非支配株主に係る四半期包括利益	828	1,554

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	966,062	235,379	1,201,441	—	1,201,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46	1,028	1,074	△1,074	—
計	966,109	236,407	1,202,516	△1,074	1,201,441
セグメント利益	77,113	7,155	84,268	△47,974	36,294

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	84,268
セグメント間取引消去	△23
全社費用(注)	△47,950
四半期連結損益計算書の営業利益	36,294

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,024,876	284,711	1,309,587	—	1,309,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	5,738	5,817	△5,817	—
計	1,024,956	290,449	1,315,405	△5,817	1,309,587
セグメント利益	82,138	11,473	93,612	△52,840	40,772

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	93,612
セグメント間取引消去	△29
全社費用(注)	△52,810
四半期連結損益計算書の営業利益	40,772

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第1四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	886,760	+13.4
電気・輸送機器向	242,694	+19.5
合計	1,129,455	+14.7

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,032,834	+3.2	366,371	+3.0
電気・輸送機器向	253,917	+19.2	111,376	+30.4
合計	1,286,752	+6.0	477,747	+8.3

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,024,876	+6.1
電気・輸送機器向	284,711	+21.0
合計	1,309,587	+9.0

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	261,031	21.7	294,628	22.5

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。